

遊牧民の暮らし

アラビア半島のシリアに、沙漠地帯を移動しながら暮らす遊牧民「ベドウィン」がいます。
自分たちはアラブ人だという誇りを持ち、羊やラクダと共に沙漠で生きながら、携帯電話などの通信機器もうまく利用する生活の様子をちょっと覗いてみましょう。

(写真: ©吉竹めぐみ)

アラブの遊牧民「ベドウィン」

どんな服を着ているの?



男女ともゆったりしたくぶしまである長衣「トーブ」を着る。男性は「クーフィーヤ」、女性は「ヒジャブ」という布を頭にかぶる

強い日差しや砂ほりから体を守るためなんだね

学校はどうやって行くの?



学校は男の子だけ。定住地の学校まで歩くか車で送ってもらう。女の子は家の手伝いが忙しくてほとんど行かない

小さな男の子は放牧の手伝いをしながら、女の子はお母さんやお姉さんの家事の手伝いをしながら遊ぶよ



携帯電話は持ってる?



男性の必需品。充電はバイクのバッテリーから

女性はほとんど持っていないんだって!

何を食べてるの?



地面に座りみんなで大皿を囲んで食べる。主食は「ホブス」とよばれるパン。チーズやヨーグルトなどの発酵食品、卵、野菜やジャガイモなどと一緒に

お祝いの時には僕らの肉を食べるよ!

水はどこから運ぶの?



沙漠にある井戸まで水をくみに行くのは男性の仕事

1年に何回くらい移動するの?



大移動は年1回。夏の居住地と冬の居住地を移動する。羊のエサである草を求めて居住地30km圏内を何度も移動する

どんな家に住んでいるの?



夏は綿や麻でつくった布、冬は黒ヤギの毛で織った布を使って組み立てた家に住んでいる。テレビがある家もある

月明かりやたくさんの星がきらめいて、外は意外と明るいよ!

モンゴルに暮らす遊牧民「カザフ」

モンゴル西部に暮らす遊牧民「カザフ」の大きなドーム型の家の中にはカラフルな空間が広がっています。壁を覆うのは「トゥス・キーズ」と呼ばれる刺繍布。家族が幸せに暮らせるようにとの願いが込められています。

遊牧民は、時に人間の力が適わないほどの猛威をふるう「自然」と生きるからこそ力強く、家畜という「命」の大切さを知っているからこそ心温かい。私たちの日常とはまるで異なる「遊牧民の暮らし」をぜひご覧ください。—— 廣田千恵子

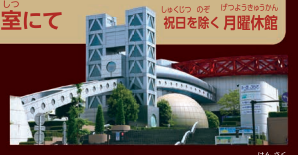
(写真: ©廣田千恵子)

この模様の中に僕の角があるよ。さが探してみてね



「遊牧ぐらし～草原の民と砂漠の民～」
2019年12月14日土～2020年3月22日
あーすぷらざ3階 企画展示室にて

あーすぷらざ



〒247-0007 横浜市栄区小宮ヶ谷1-2-1 TEL:045(896)2121